

第九十回帝國議會
衆議院

食糧緊急措置令(承諾を求める件)委員會會議錄(速記)第六回

付託議案

食糧緊急措置令(承諾を求むる件)

昭和二十一年七月九日(火曜日)午前十一時三十分開議

出席委員

委員長 成島 勇君
理事 岩本 信行君 理事 坂本 實君
理事 森 幸太郎君 理事 馬越 晃君
理事 細野 三雄君

出席政府委員

大井直之助君 杉田 一郎君
廣川 弘禪君 淵田長一郎君
森田 豐壽君 八重樫利康君
神戶 眞君 吉米地義三君
堀川 恭平君 氏原 一郎君
清澤 俊英君 田中 健吉君
堂森 芳夫君 北 政清君
的場金右衛門君 柏原 義則君
山本 武夫君 井出 太郎君
志賀 義雄君

出席政府委員

農林事務官 楠見 義男君
農林事務官 三棚 參郎君
農林事務官 佐野 憲次君
農林事務官 坂田 英一君
食糧管理局長官 片柳 眞吉君

本日ノ會議ニ付シタ議案

食糧緊急措置令(承諾を求むる件)

○成島委員長 開會致シマス 八木 佐太治君

○八木委員 唯今ノ委員長ノ仰セニ從ヒマシテ、出來ルダケ簡單ニ御質問申上ゲタイト思ヒマス、土地問題ニ關シマシテハ、農林當局ニ於テ、未ダ全貌ヲ御發表ニナル域ニ達シテ居ラレナイ

ト云フコトハ諒致シマス、デアリマスガ其ノ間ニ希望ノナコトヲ申上ゲマシテ、今後農林當局ニ於テドウ云フ風ナ方途ヲ以テ私ノ質疑ニ對シテ應ゼラレマスカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス、實テ是ハ長イコトデアリトマシガ、適正規模農家ノ設定ト云フコトガ、殆ド二十年前カラ叫バレテ居ツタデアリマスガ、ソレハハツキリシタ御答ヘモ得マセデ、近ク自作農創設ト云フモノニ置キ替ヘラレタデアリマスガ、私共長ク農村ニ住ンデ居リマス者カラ言ヒマシテ、此ノ適正規模農家、詰リ專業農家デゴザイマス、此ノ維持育成ト云フモノガ、ドレ程大事デアリカト云フコトヲ沁々ト見テ居ル者デアリマス

(委員長退席、岩本委員長代理著席)

近來ノ食糧供出ニ關シマシテ、適正規模農家デアリマスナラバ、政府ノ要求サレマス全部ニ御答ヘサレト云フ態勢ニナツテ居リマス、ソレヲ供出ニ障礙ヲ與ヘルモノハ小規模農家、詰リ專業農家デゴザイマス、サウ云フモノガ色々ナ方面カラ障礙トナツテ、現ハレテ居リマスノデ、私共其ノ責任ニ當ル者ガ始終苦シメラレテ居ル現狀デアリマス、サウ云フコトカラ言ヒマシテモ、亦日本ノ中堅農家ノ確立ニ依ツテ自給態勢ヲ講ジ、又現今ハドウデアリマシテモ、詰リハ世界經濟ノ一環ニ居リマス日本農民ガ、此ノ後數年ノ間ニ獲想サレマス所ノ「ダンピング」、其ノ色々ナ經濟事情ニ依ツテ、又々元

ノヤウナ慘メナ農家ニ陥ルノデヤナイカト云フ風ニ考ヘマス時ニ、自作農創設一點張リデナクシテ、出來ルダケ此ノ適正規模農家、專業農家ノ我コソハ農デ以テ死ンデヤルト云フヤウナ、立派ナ農民道ニ立脚シ得ラレル所ノ機能ヲ與ヘテ、維持育成シテ行クト云フコトガ非常ニ大事ナ點デハナイカト考ヘラレマス、唯近來ノ小農家ト申シマスガ、ソレハ戰時中ニ中堅農家ガ已ムニ已マレス事情デ、勢力不足ニ依ツテ簡單ニ時期ヲ決メテ貸シ與ヘタモノガ、今度ノ自作農創設ニ依ツテ取ラレナクナル、詰リハ自作農創設ノ對象ニナツテシマフト云フコトニナリ、今ハ非常ニ苦シンデ居ルノミナラズ、私ハ勿論東北デ、山形縣ノ者デゴザイマスガ、山形縣ハ一毛作デアリマシテ、六段以下ノ小農家ハ要配給農家、或ハ丸農家、兼業農家デアリマス、サウシタ所ノ農家ハ、畜力モナケレバ、技術ニ於テハモウヒドク低下シテ居リマス、其ノ他増産ノ熱意ニ於テモ非常ニ缺ケル所ガ多イデアリマシテ、斯ウ云フモノガ農村ヲ亂スコトガ夥シト云フコトニナツテ居ルデアリマス、之ヲ段々ト御方針ニ依リマシテ、本當ノ適正規模農家ニ變ヘサセルヤウニ、ソコニハ失業問題ト云フコトモ出テ參リマセウシ、或ハ土地ノ國家管理ト云フヤウナコトモ獲想サレマセウシ、幾多、困難ハアル譯デアリマスケレドモ、之ヲ今ノウチカラ乗越シテ行カナケレバ、悔ヒヲ千載ニ貽スト云フコトニ相成ルデアリマス、言ヒ足

ラヌヤウデアリマスガ、此ノ點ニ付テ、次官ノソレ等ニ對スル御答辯ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス

○簡見政府委員 土地ノ問題ニ付テノ御答辯デゴザイマスガ、昨年ノ暮ニ第一次ノ土地改革ヲ致シマス、農地調整法ノ改正案ノ御協議ヲ得タデアリマスガ、今國關係方面ト連絡ヲ密ニ致シナガラ、第二次ノ土地開放ノ問題ガ只今研究ヲサレテ居ルコトハ御承知ノ所ハ、出來ルダケ多クノ小作農ヲシテ、土地ヲ持テ得ル機會ヲ與ヘルト云フコトニ大キナ狙ガアル譯デアリマスガ、併シ又一面、唯今御述べニナリマシタヤウニ、將來ノ農村ノ在リ方ト云フヤウナコトカラ考ヘテ參リマス、健全ナ農家ヲ育てテ行ク、又維持ヲ致シテ行クト云フコトモ、是ハ申スマデモナク極メテ大切ナコトデアリマス、御述べニナリマシタヤウニ、適正ナ農家ト云フモノハ、是ハ勿論北海道、内地、又内地ニ於キマシテ東北、關東、近畿、九州ト云フヤウニ、其ノ所ニ依リマシテ、又生産事情ニ依リマシテ其ノ規模ハ異ナリマスケレドモ、其ノ他方々ノ生産事情、又經營事情ヲ考慮ニ入レマシテ適正農家ト云フモノハ、ドウシテモ維持育成ヲシテ行カナケレバナラヌ問題デアルト私共モ考ヘテ居ルデアリマス、御承知ノヤウニ、戰爭中ニ於キマシテ、所謂皇國農村確立運動ト云フヤウナモノガ大キク登場致シマシタノモ、サウ云フ趣旨ニ外ナラナイデアリマス、今後ノ此

ノ土地開放ノ問題ニ關聯致シマシテモ、同様ニ土地ノ經營ヲ能率化致シマスルト同時ニ、出來ルダケ之ヲ適正ニシテ參ルト云フ觀點カラ、色々耕地ノ集團經營化ト云フヤウナ問題モ取上ゲラレテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、所謂飯米農家ト申シマスガ、兼業農家ガ、出來ルダケ專業農家トシテノ適正ナ營業ニ當ツテ行クトニ付キマシテハ、私共モ全く同感デ、此ノ心持ヲ以テマシテ今後ニ處シテ參リタイト考ヘテ居リマス

○山本委員 次ハ、滿洲方面ニ開拓民トシテ、參リマシタ諸君、又青少年義勇隊トシテ參リマシタ者ガ、家族ヲ合セテ十數萬ニナツテ居ルト思ヒマスガ、ソレ等ノ人達ガ今ソレノ歸ツテ參リマシタ、話ハ別デスガ、開拓ヲヤツテ見マスト、唯食糧ニ因ルカラ自分モ開墾ショウト云フヤウナ、非常ニ淺ハカナ考ヘデ開拓地ニ入ツテ居ル者ガ相當アルト見エマシテ、其ノ出入ガ非常ニ頻繁デアリマス、サウ云フ所ニ持ツテ來テ、農ヲ以テ起タウトシマシタ開拓民ガ幸ヒ歸ツテ來ラレルノデ、ソレヲ上手ニ用ヒマスナラバ、内地ノ増産ニモ一段ノ效果ガ現ハレルト思ハレマス、今ノ所ハ個々ノ地方々々デ、其ノ受入態勢ヲ作ツテヤツテ居リマスガ、是ハ政府ノ強力ナ後押シガナケレバ出來ナイト云フ點ガ相當アルデアリマス、例ヘバ開墾地ヲ、此處ナラバ宜イ、普通ナラバ殘ツテ居リマスモノハ増地ガ多イデアリマシテ、ソレヨリ非常ニ身近ニ個人有トナツテ居ル開墾

地ガ澤山アリマスガ、ソレハ中々手放サスト云フヤウナコトデ、色々ナ點デ此ノ眞面目ナ開拓民ヲ受入レルノ今非當ニ困難ヲシテ居ルノデアリマス、言葉短カニ申上ゲマスナラバ、特ニ開拓民ニ對スル受入ノ方法ト云フモノニ付テ、政府ハ何カ御考ヘガアリマスカドウカ、御伺ヒ致シタイと思ヒマス

○補見政府委員 滿洲開拓ニ行カレタ方々、或ハ御述ベニナリマシタヤウニ、青少年義勇隊ノ人々ガ、アツチコソチカラ内地ニ歸リ得ル機會ガ多クナリテ參ルト思フノデアリマス、是等ノ人々ノ受入態勢ノ問題ニ付テノ御尋ネデ、ゴザイマスガ、私共モ、内地デ御承知ノヤウナ緊急開拓計畫ヲ樹立致シマス際ニ、當然是等ノ人々ノ受入ニ付テモ考ヘナケレバナラスト、當初カラ實ハ考ヘテ居タルノデアリマス、特ニ滿洲開拓ノ方々ハ、現地ニ於テ具サニ開拓ノ建設ノ當初カラ經驗ヲサレタノデアリマシテ、特ニ開拓ニ付キマシテハ經驗豊イ、又本當ニ未開地ニ於テ、未墾地ヲ熟田トスル、熟田トスルマデ、特ニ其ノ方ニ努力ヲ拂ハレ、經驗ヲ積マレタ方々デアリマス、又御述ベニナリマシタヤウニ、其ノ土地デ骨ヲ埋メルト云フヤウナ固イ開拓精神ヲ持ツテ行カレタ方々デアリマス、是等ノ方々ガ中心ニナツテ開拓事業ガ進メラレマスナラバ、内地ニ於ケル開拓事業ト云フモノモ、一部ニ現在アリマスヤウナ中途半端ナ氣持デナクシテ、必ズヤ將來ノ希望ハ我々トシテモ持テルト存ズルノデアリマス、隨テ現在ニ於キマシテハ、各府縣デ色々計畫致シマス場合ニモ、特ニ是等ノ人々ニ付キマシテハ優先的ニ考慮ヲ拂フ、更御承知ノヤウナ開拓増産隊デアリマスルカ、或ハ開

拓建設隊ト云フヤウナモノニモ、便宜加入ノ途ヲ設ケテ居ルノデアリマスガ、更ニ中央ノ事業ト致シマシテ、百町歩以上ノ大キナ面積ニ付テノ開拓計畫ヲ樹立致シマス場合ニ、其ノ一部ヲ特ニ留保致シマシテ、是等ノ人々ノ歸リタ時ノ用ニ當テラユウニ、現ニ準備シテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、更ニ救出ノ問題ニ付テノ御尋ネデゴザイマスガ、結局私共ト致シマシテハ、中央デ之ヲ強力ニ推進スル時機ヲ與ヘル必要ガアラウト存ジマシテ、海外ノ引揚者ノ就勞對策委員會ト云フヤウナモノヲ設ケテ居ルノデアリマス、是ハ開拓關係トシマシテモ、サレ云フヤウナ委員會ヲ設ケマシテ、ソレ等ハ世話ヲナサル方々ノ代表者ニ委員ニナツテ職キマシテ、全般的ニ此ノ滿洲開拓民ノ受入ト云フコトニ付キマシテモ特ニ力ヲ入レテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマスノデ、御諒承願ヒタイと思ヒマス

○山本委員 其ノ次ハ家畜ノ問題デアリマスルガ、御承知ノ通り只今ハ飼料ノ關係デ家畜ノ數ガ非常ニ減ツテ居リマス、直接食糧ノ問題ニ關係ナイノデスガ、餘リニ主食ノ問題ガ緊迫シテ居リマスノデ、動モスレバ此ノ家畜ノ問題ガ等閑サレテ居リマス、併シ能ク之ヲ考ヘテ見マスト、肥料ノ問題ノ解決カラシマシテモ、ソレカラ現在ノヤウニ、主食ガ此ノヤウナ過重ナ責任ト言ヒマスカラ負ハセラレテ居ルノモ、家畜ノ數ノ減ツタノガ最モ原因シテ居ルノデヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、鶏モ居ラナケレバ、豚モ居ナイ、デアリマスカラ此ノ濃厚ナ食糧ニ依ツテ主食ガ「カバ」サレル點ガ相當多イニ拘ラズ、ソレガ等閑視

サレテ居ルノデアリマスガ、實際考ヘテ見マスト憂慮ニ堪ヘナイモノガアリマス、併シソレヲ解決スル根本策ハ、勿論ハ飼料ノ増産デナケレバナリマセ、併シ今此ノ限ラレタ土地ニ於テ、飼料ヲドウ云フ風ニ生産サレ、ソレカラ他ノ國トノ關係ニ於テ、飼料ハドウ云フ風ナ方向ニ向ツテ解決ノ途ヲ探シテ居ラレルカト云フコトヲ、御伺ヒシタイと思フノデアリマス

○補見政府委員 家畜ノ問題ニ付キマシテハ全ク御説ノ通りデアリマシテ、結局現在ハ乏シキモノヲ家畜ト人間ガ分ケ合ツテ居ル、斯ウ云フヤウナ情勢ニナツテ居ルノデアリマス、此ノコトハ先日モ此ノ委員會デ申上ゲマシタ通りデアリマシテ、結局ジリ貧ニ惡循環ヲ致シテ、一層食糧事情ヲ苦シクシ、又其ノ基礎デアリマス生産事情ヲ惡ク導イテ居ルヤウナ情勢ナノデアリマス、隨テ是ハ出來ルダケ、或ル時ニハ其ノ惡循環ヲ斷チマシテ、サウシテ寧ロ逆ニ、雪達磨式ニ伸ビテ行ク方向ニ轉換シテ行カナケレバナラスト、豫ネテ思ツテ居ルノデアリマスガ、何分ニモ目前ノ食糧事情ノ窮迫ノ爲メ、現在ノヤウナ狀態ヲ續ケテ居ルヤウナ次第デアリマス、隨テ唯今申シマスヤウニ、思切ツテ此ノ惡循環ヲ好循環ノ方ニ振向ケル爲メ努力シナケレバナラヌト思ツテ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ轉換ハ、中々今申シマスヤウニ、目前ノ食糧事情ノ現狀デアリマスカラ出來ナイノデアリマス、併シ例ヘバ、是モ申上ゲマシタヤウニ、乳牛ノ飼料問題ニ付キマシテモ先般手ヲ打ツタヤウナ次第デアリマスガ、未利用資源トシテノ甘藷利用、其ノ他色々從來ノ家畜飼料トシテ用ヒラレテ居リマシタモノ

ハ、出來ルダケ早く本來ノ家畜ノ飼料ニ戻シ、サウシテ之ヲ食糧増産ノ肥料代リニ使フト云フ方向ニ向ヒタイト、私共色々考ヘテ居ルヤウナ情勢デアリマス、併シ差當リノ問題ト致シマシテハ、結局國內ニ於キマシテハ御承知ノヤウナ情勢デアリマスノデ、司令部ノ方ニモ御願ヒラ致シマシテ、麥皮ノ輸入ヲ懇請ヲ致シテ居ルノデアリマス、數量ハハツキリ申上ゲラレマセスガ、逐次此ノ輸入麥皮ノ實現ハ見ツ、アルノデアリマシテ、既ニ是モ或ハ御承知ノカト思ヒマスガ、第一船ハ先月名古屋ニ入ツテ參ツタノデアリマス、色々此ノ食糧或ハ麥皮ノ輸入關係ニ付キマシテハ、是ガ餘リニ宣傳ヲヤラレマスト、實ハ其ノ入レタノハ食糧事情ガ非常ニ苦シイト言ハレテ居ル地方カラ、ソレヲ入レテ居ルノデアリマスルノデ、非常ニ「デリケート」ノ問題デアリマスカラ、餘リ大キク是ハ喧傳ハ出來ナイノデアリマス、併シ國內ニ於キマス飼料事情モ十分諒解ヲ得マシテ、サウ云フ風ニ著々ト實現ヲ見ツ、アルコトヲ、此ノ機會ニ申上ゲテ置キタイと思ヒマス

○山本委員 其ノ次ハ供出促進ノ爲メ、政府デハ報奨制度或ハ見返品等ニ依ツテサウ云フ方面ニ力ヲ注ガレテ居ラレマス、私共村ニ居リマシテ、斯ウシタコトガ最初ニ現ハレマシタ時ニ、折角農民道ニ立脚シテ一生懸命ヤツテ居ルノニ、政府ハ我々ト取引スルノカト云フヤウニ非常ニ憤慨シタモノノ一入デアリマス、併シ段々ノ情勢ニ於テハ、唯精神一點張りデ以テ供出ヲ促進サセルト云フコトハ成立チマセス、農家ハ色々ナ斯ウ云フ必需品ヲ要求シテ居リマス、是ハ已ムヲ得ナイコトデア

リマスガ、併シ是マデノ供出ノ狀態ヲ見テ居リマスト、一番大キク働クノハ指導者ノ如何デアリマス、同ジ環境ニアリ、隣接シテ居リマス町村デモ、ソレガ町村長デアツテモ、農業會長デアツテモ、或ハ非常ニ熱心家デモ、ソレハ場合ニ依ツテ違ハマスケレドモ、一村ニサウシタ眞面目ナ、眞劍ナ人ガ一人出ルコトニ依ツテ、隣村ハ七〇%或ハ六〇%デ終ツテ居ルニモ拘ラズ、僅ニ一〇%供出シテ居ルト云フ實情デアリマシテ、是ハ今後ト雖モ決シテ忽セニハ出來ナイ問題デアリマス、而モ本當ニ今ノ國情カラ申シマス、少クトモ農民ダケデモ本當ノ道義心ニ立ツテ、同胞愛ニ燃ニ立ツテ、サウシテ供出ノ如キハ間髪ヲ入レズニ達成スルト云フヤウナコトガ、モットノ勸奨サレテ然ルベキモノダト考ヘテ居リマス、所ガ段々々々ト物質的ナ取引ノ方ニ向ツテ參ルコトヲ非常ニ遺憾ト思ツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ精神教育ト云フノハ大變難デアリマスガ、サウ云フ人達カラ本當ノ意味ニ於テ働イテ貰フヤウナ、サウ云フ運動デモアリマセヌカサウ云フコトニ對シテ、ドウ云フ風ニ政府ハ進メテアラレマスカ、御伺ヒシタイと思ヒマス

○補見政府委員 單リ供出ノ問題ニ限リマセズ、農村ニ於キマス色々ノ増産關係ハ勿論、或ハ消費關係ニ付キマシテモ、是ガ皆行クカドウカト云フコトハ、一ニ懸ツテ唯今御述ベニナリマシタヤウニ、指導者ノ如何ニ存スルト思フノデアリマシテ、是非非常ニ困難ナ下ニ於ケル増産事業ニ於テ、或ハ又最近ノヤウナ世相ノ下ニ於ケル供出事情ニ於キマシテ、其ノ地方中心指導者ノ方ノ宜シキヲ得マシタ爲メ、非常

リマスガ、併シ是マデノ供出ノ狀態ヲ見テ居リマスト、一番大キク働クノハ指導者ノ如何デアリマス、同ジ環境ニアリ、隣接シテ居リマス町村デモ、ソレガ町村長デアツテモ、農業會長デアツテモ、或ハ非常ニ熱心家デモ、ソレハ場合ニ依ツテ違ハマスケレドモ、一村ニサウシタ眞面目ナ、眞劍ナ人ガ一人出ルコトニ依ツテ、隣村ハ七〇%或ハ六〇%デ終ツテ居ルニモ拘ラズ、僅ニ一〇%供出シテ居ルト云フ實情デアリマシテ、是ハ今後ト雖モ決シテ忽セニハ出來ナイ問題デアリマス、而モ本當ニ今ノ國情カラ申シマス、少クトモ農民ダケデモ本當ノ道義心ニ立ツテ、同胞愛ニ燃ニ立ツテ、サウシテ供出ノ如キハ間髪ヲ入レズニ達成スルト云フヤウナコトガ、モットノ勸奨サレテ然ルベキモノダト考ヘテ居リマス、所ガ段々々々ト物質的ナ取引ノ方ニ向ツテ參ルコトヲ非常ニ遺憾ト思ツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ精神教育ト云フノハ大變難デアリマスガ、サウ云フ人達カラ本當ノ意味ニ於テ働イテ貰フヤウナ、サウ云フ運動デモアリマセヌカサウ云フコトニ對シテ、ドウ云フ風ニ政府ハ進メテアラレマスカ、御伺ヒシタイと思ヒマス

ニ好成績ヲ上ゲタ事例ハ少クナイノデ
アリマス、御述ベニナリマシタ點ハ私
共ト致シマシテハ全ク同感ト存ズルノ
デアリマス、唯現在ノ一般ノ情勢ハ、
是モ只今山木サンカラ御述ベニナリマ
シタヤウニ、一面ニ於テ其ノ道義心ノ
昂揚、或ハ私共ハ從來之ヲ農民道ト稱
シテ居タルノデアリマスガ、古來カラ
ノ眞ニ我が國トシテノ美風デアリマス
ルノミナラズ、國ノ礎デアリマスル農民
道ノ振起ト云フコトヲ、機會アル毎ニ
農民ノ方々ニ懇ヘ、又其ノ協力ヲ得テ
居タルデアリマスガ、一面ニ於テハ
御述ベニナリマシタヤウナ風ニ、此ノ
農家必需品ノ要求ト云フモノモ切實
ナ點トシテ聽カサレマスル爲ニ、私共
ハハ單ニ物デ物ヲ釣ルト云フヤウナ
觀點デナク致シマシテ、農家ノ勞ニ報
イル、御禮ヲスル、斯ウ云フヤウナ政
府トシテノ感謝ノ意モ含メマシテ、現
在報奨物資ノ放出ニ努力モ致シテ居ル
譯デアルノデゴザイマス、根本ハ何ト
申シマシテモ、御述ベニナリマシタヤ
ウニ、農民道ノ振起ト云フコトニアラ
ウト思フノデアリマシテ、此ノ點ハ今
後ト雖モハ機會アル毎ニ之ヲ農家ノ方
方ニ懇ヘ、又中間指導者ノ方々ノ協力
ヲ得、是非ハ國ノ礎トシテ育テテ參
リタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリ
マス

スガ、是ハ戰時中河川工事ノ不完備、
澁滞ト云フヤウナコトニ勿論痛切ナ原
因ガアルト思ヒマス、併シ其ノ原因タ
ルヤ、山林ノ荒廢ガ私ハ一番恐ルベキ
モノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リ
マス、サウシマシテ山林ヲ逸早く植林
サセテハドウカト云フ風ニ、色々實際
問題ニ於テ考ヘ、又行ヒツ、アリマス
ガ、二段歩々三段歩々山地ノ所有者ナ
ラ片手間、家庭努力デ植林モ出來
マスガ、少シ大キナリマス、高イ
種苗ヲ買ツテ、ソレヲ植付ケルト云フ
コトハ言フベクシテ行ハレナイ現狀デ
アリマス、デアリマスカラ地主ト云ハ
レル人達ハ、其ノ心持ガ本當ニアツテ
モ植林ハ殆ンド進ンデ居リマセス、斯
ウ云フコトガ一面ニ於テハソレダケノ
損害トナリマス、是ハ政府ニ於テ、大
キナ力ヲ注イデ、一時モ早く植林
ノ完成ニ急ガナケレバナラヌノデヤナ
イカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、勿論
機ヲ逸セズ當局トシテハ力ヲ致サレテ
居ルトハ思ヒマスケレドモ、サウ云フ
方面ニ對シテハ、今後ドウ云フ風ナ形
ニ依ツテ助長サレマスカ

○補見政府委員 唯今御述ベニナリマ
シタヤウニ、最近ノ水害或ハ旱害ノ大
キナ原因ガ、戰時中ニ於キマスル濫伐
ノ結果ニ基イテ居ルト云フコトハ、私
共モハツキリトソレヲ認メラレルノデ
アリマス、即チ戰前ニ於キマシテハ、
國內デ三千萬石乃至四千萬石ノ伐採盤
デ、残り千萬石乃至二千萬石ハ國外ガ
輸入ヲ致シテ居リマシタノガ、戰時
ガ始リマシテ輸入ノ途ガ斷ヘ、而
モ需要量ハ或ハ八千萬石、或ハ九千萬
石、一億萬石、斯ウ云フ風ニ上ツテ參
ツタノデアリマシテ、之ヲ總テ國內ノ
伐採ニ依ツテ補ツテ參ツタ、而モ植樹
ノ造林ガソレニ伴ヒマセマシタ爲
ニ、所謂植伐不均衡ガ漸次其ノ害ヲ今
日ニ及ボシテ居ルヤウナ次第デアリマ
ス、隨テ私共トシマシテハ、國土保安
ノ觀點カラ申シマシテモ、亦最重要
ナ食糧増產ノ觀點カラ致シマシテモ、
此ノ植伐不均衡ヲ速カニ是正シ、造林
ニ徹底ヲ致シマスル同時ニ、災害防
止ノ林業施設ヲ擴充致シテ參ラナケレ
バナラヌト、深ク感じテ居ルヤウナ次
第デアリマス、實ハ御承知ノヤウニ、
森林治水事業ニ於キマシテハ、第一期計
畫、第二期計畫ヲ引續イテ實施ヲ致シ
テ參リマシタ、現在ハ第二期森林治水
事業ノ末期ニ當ツテ居ルノデアリマス
ガ、同様ニ是モ御承知ノ、災害防止林
業施設トシマシテ、是モ年度計畫デ立
テテ居リマシタ、荒廢林地ノ防止ニ關
スル施設モ、同様ニ現在ハ其ノ年度計
畫ノ末期ニ近ヅイテ居ルノデアリマス
ス、隨テ現在ハ其ノ既定計畫ニ從ヒマ
シテ實行ヲ致シテ居ルノデアリマス
ガ、來ルベキ新規ノ計畫ニ對シマシテ
ハ相當根本的ニ、又大規模ノ森林治水
ノ事業ニ没頭シナケレバナラヌト考ヘ
ラレルノデアリマス、現在ハ既ニ先般
ノ追加豫算ノ際ニモ御承知願ヒマシタ
ヤウニ、本年ハ根本的ニ現在災害關係
又森林治水關係ニ付キマシテ調査ヲ致シ
マシテ、サウシテ之ヲ將來ノ基礎計畫
ノ方ニ供スル、斯ウ云フコトデ一方ニ
於キマシテハ既定計畫ヲ進行致シマス
ト同時ニ、ソレニ引續ク新規ノ計畫モ
基礎調査ヲ現在致シテ居ル、斯ウ云フ
狀態アゴザイマス

○山木委員 此ノ點ハ小サイ問題ノヤ
ウデアリマスガ、現在行ハレテ居リマ
ス普通水利組合法デアリマス、此ノ
水利組合ト實際耕作シテ居リマス所ノ
關係者トハ、相當程度離レテ來テ居ル
現狀ニアリマス、是ハ懸イ言葉デ申
上ゲマス、小サイ政治ノ遊ビノヤウ
ナ形ニ相成ツテ、中々耕作者ノ要求ス
ル所トビツタリ來ナイヤウナ現狀ニナ
ツテ居リマス、幸ヒ此ノ農業會ハ既ニ
強力ナモノニナツテ居リマス、普通
水利組合ノ全部ヲ農業會ニ包含サセテ
ヤルコトニ依ツテ、ソコニ摩擦モナケ
レバ、仕事ガ正確ニ實現サレテ參リマ
ス、是ハ私共ノ地方ノミナラズ、各
地ニ於テサウ云フ要望ガアルコト思
ハレマス、此ノ際ドウ云フ風ニ御考ヘ
ニナツテ居ラレマスカ、承リタイト思
ヒマス

○補見政府委員 其ノ點ニ付キマシテ
ハ私詳細承知ヲ致シテ居リマセマスガ、
結局此ノ團體ノ問題ニ付キマシテハ、
御承知ノヤウニ色々團體ガアリマシ
タノヲ、戰時中統合シ、是ガ又段々ト
分化ヲシテ參ルヤウナ傾向ニアル譯デ
アリマスガ、併シ共通ノ事務ヲ取扱
フモノ、即チ唯今御述ベニナリマシタ
ヤウナ耕地ニ關スル組合ト申ジマス
カ、團體制度ガ、新シク今後ノ團體ノ問
題ニ付テ檢討致シマス場合ニハ、ソレ
ト密接不可離ノ、又一緒ニシタ方宜
イト云フヤウナモノニ付キマシテハ、
當然考慮ヲ致シテ然ルベキモノト考ヘ
テ居リマス

○山木委員 ソレハ是非實現シテ戴キ
タイコトヲ御希望申上ゲマス、是デ私
ノ御尋ネ申上ゲタイコトハ全部終リマ
シタガ、私ノ非常ナ下手ナ發表ニ對シ
テ、次官ハ非常ニ懇篤ナル御説明ヲ戴
キマシテ、洵ニ有難ク感謝申上ゲマ
ス、是デ打切リマス

○岩本委員長代理 井出一太郎君
○井出委員 數日來ノ質疑應答ニ依リ
マシテ、食糧緊急措置令ハ固ヨリ、日
本ノ農業政策全般ニ對スル色々ナ角度
カラノ檢討ガ加ヘラレマシタノデ、敢
テ蛇足ヲ加ヘル必要モナイマデニナツ
テ居リマセマス、私ハ今マデニ觸ラレ
マセマシタ若干ノ問題ヲ取上ゲマシ
テ、當局ノ所信ヲ伺ヒタイト思フノデ
アリマス、後程釀造關係ノコトヲ御尋
ネ致シマスルガ、大藏省委員ノ中御越
シ願ヘルナラバ、サウ云フ御手配ヲシ
テ戴キタイト思フノデアリマス、ソレ
ハ後廻シニ致シマシテ、最初ニ伺ヒタ
イコトハ、森ニ苦米地委員ノ御質問モ
アツタ譯デアリマスガ、ソレヲモウ少
シ掘下ゲテ御答辯ヲ得タイノデアリマ
ス、所謂強權ノ發動ニ付テ、政府ハ何
處マデ之ヲ強行スル肚ガアルカ、併セ
テ現在ノ米穀年度ニ於ケル需給計畫ノ
面ニ於テハ、一體何バセント位ノ
所ヲ謂ハマ仕上ゲマスル中シマセウ
カ、覺テ付ケルト申シマセウカ、サウ
云フ見透シヲ御持チデアレバ伺ヒタイ
ト云フコトデアリマス、是ハモウ御存
ジノ通り、現在ハ供出ノ時期ヲ遙カニ
外レテ居ツテ、所謂傳家ノ寶刀デアリ
ケスル此ノ措置令ガ、若干ノ效果ハア
ツタラウト思ヒマスケレドモ、今日ニ
至ツテハ、果シテソレマデノ斬レ味ヲ
示シタカ、傳家ノ寶刀ヲ抜イタ以上
ハ、是ハヤハリ業物デアアルカ鈍刀デア
ルガ、サウ云フ斬レ味ヲ示シテ戴クト
云フコトデナケレバナラヌト思フノデ
アリマス、先頃ノ農林大臣ノ答辯ノ際
ニ伺ヒマス、未利用資源ヲ除イタ現
在ノ買入數量ハ豫定量ノ七九%餘、檢
査數量ニ於テハ八一%餘ト云フ風ニナ
ツテ居ルノデアリマス、現在ノ段階デ
ハ最早之ヲサウ計シ「パーセンテ」
ジ「高メルト」云フコトハ困難ナ狀況

ユナツテ居ルト思フノデアリマス、サウシテ一方は、食糧管理局アタリカラ出タ数字カト思ヒマスルガ、此ノ米穀年度ニ於テハ、宛極ニ於テ六十萬「ト」ノ輸入食糧ヲ賣ツテモ尙且ツ約四百萬石、凡ソ一箇月分ノ食糧ガ此ノ米穀年度ニ於テ不足スル、斯ウ云フコトニ聞イテ居ルノデアリマス、其ノ根據トナル本年度ノ供出ノ「パーセンテ」ハ、一體ドウ云フ程度デ仕上ゲラ

ナルノデハナイカ、人間ノ持つテ居ル弾力性ニ頼ツテ居ル政治デハ、是ハ政治デハナイ、サウ云フ點ニ於ケル當局ノキツバリシタト申ノ同ヒタイノデアリマス

信ハ致シテ居ルノデアリマスガ、併シテ結局供出ノ實情ハ底ヲ窺イタト云フ感ヲ深クシテ居タノデアリマス、隨テ此ノ狀態ヲ進ミマスレバ、結局六十萬「ト」ノ輸入ヲ見マシテモ尙ホ四百萬石ノ不足ガ見込マレル、勿論此ノ四百萬石ノ穴ヲ埋メル爲ニハ、食糧輸入ヲ更ニ申請ヲシナケレバナラヌ譯デアリマスガ、四百萬石ト申シマス丁度六十萬「ト」ニ相當スルモノデアリマス、隨テ前ノ六十萬「ト」ト合ハセマスト百二十萬「ト」ヲ入レナケレバ穴ガ埋マラナイコトニナリマスノデ、此ノ四百萬石ノ不足ヲ最小限度ニ切詰メ

スト云フコトハ、結局長ク食ツテ居タモノヲ短イ間ニ食フコトデアリマスノデ、ソレダケ農家ノ保有量ト云フモノハ或ル場合ニ於キマシテハ殖エテ參ルノデアリマスガ、一面ソレヲ見返リテ致シマシテ、從來ノ既定計畫デハ考慮ヲ致シテ居リマシタ農家用ノ配給米、或ハ還元米、斯ウ云フヤウナモノヲ家用ノ米ニ依ツテ賄ツテ行クコトカラ致シマシテ、政府ノ配給數量ヲ減

配給量ガ減ルト云フコトニナリマスノデ、是モ最初ニ申上ゲマシタヤウニ、救縣運動トカ、或ハ救國運動トシテ農民諸君ニモ懇へ、又一面消費者ノ方々ニモ能ク此ノ食糧事情ヲ諒解シテ戴キマシテ、少シデモ食ヒ延バシヨシテ戴キヤウニ、現在私共ト致シマシテハ努力ヲシテ居ルト云フノガ實情デアリマス

答ヘモアツタノデアリマスガ、之ヲ此ノ儘ニシテ置キマス、ヤハリ正直者ガ馬鹿ヲ見ルト云フ現象ガ起リマスシ、今後ノ麥トカ馬鈴薯トカノ供出ニ於テ、市町村調整委員會ヲ活用シテ、其ノ方面米ニ於テ未完了ノ分ハ考慮スルト云フヤウナ御話モアツタノデアリマスガ、ソレガドコトナマデ、必ズ百「パーセント」マデサウ云フ麥ヤ芋ヲ通ジテ出サシメルト云フ強イ肚ヲ御持チ

先づ最初ノ強硬發動ヲ何處マデ續ケルカト云フ點デアリマスガ、此ノ點ハ昨日モ農林大臣カラ此ノ席デ御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、現在ノ供出制度ト云フモノガ存続致シマスル以上、其ノ裏打トシテ強硬發動ノ規定ハ續テ參リタイト云フコトデアリマス、勿論續ケテ參リマスルケレドモ、運用方法ニ付キマシテハ、色々慎重ニ又考慮ヲ致サナケレバナラヌ點ガアラウカト考ヘマス、是ハ御承知ノヤウニ、食糧調査委員會ノ申請ヲ俟ツテ發動スルノ原則トシテ參リタイノデアリマス、其ノ問題ニ關聯致シマシテ、供出ヲドコデ仕上ゲルカ、又其ノ問題ニ關聯シテ、六十萬「ト」ノ輸入シテモ尙ホ四百萬石不足スルノラドウスルカト云フ問題ニ付テ、一應御説明ヲ申上ゲテ置キタイト

思フノデアリマス、ト申シマスコトハ、供出ノ切替へ、或ハ今年度ノ食糧ニ對スル努力、又麥、馬鈴薯ノ供出制度トモ密接ナ關聯ヲ持つテ居リマスノデアリマスガ、六千萬「ト」ノ輸入ヲ見マシテモ尙ホ四百萬石不足スルコトヲ發見致シマシタノハ、實ハ新シイ食糧緊急危機突破對策ヲ實施スル前ノ現實ノ狀態デアツタノデアリマス、即チ昨年來ノ供出狀況ハ一面強硬發動ノ措置ヲ裏打ト致シマシテ、是モ度々申上ゲマシタヤウニ、挺入レガ三月ノ中旬カラ四月ニカケテ出來テ、相當當時ノ食糧事情ヲ改善ヘ致シタモノト確

ハ、結局全體ノ枠ヲソレダケ縮メルコトニナル譯デアリマスカラ、先程申上ゲマシタ四百萬石ヲ最小限度マデ切り詰メルコトニナル譯デアリマス、此ノコトハ同時ニ最初ニ御尋ネ、昨年ノ米トノ緊キ問題ニモナル譯デアリマシテ、七月一日現在ニ於キマス農家ノ食糧ノ保有狀況ヲ、市町村食糧調整委員會等ガ中心ニナツテ戴キマシテ、ハツキリト正確ニ之ヲ摘シデ戴ク、其ノ殘存食糧ト、ソレカラ新シイ年度マデノ食ヒ繋ギノ食糧トシテ、ドレダケ要ルカト云フコトヲ十分ニ檢討シテ戴キマシテ、其ノ殘リヲ全部供出シテ戴ク、結局斯ウ云フコトニ依ツテ國全體ガ新食糧年度ヘ、即チ新シイ米ガ出ルマデノ食ヒ繋ギヤツテ行カウト云フコトニ致シタ譯デアリマス、ソコデ仕上ゲノ問題ハ、結局昨年ノ米トカカ

分リマシタ、今ヤ缺點ハ一部大都市ノ問題デハナクシテ、全國的——如何ナル米ノ貯庫ト言ハレル場所ニモ今將ニ缺點狀況ガ起リ掛ラントシテ居ルノデアリマス、只今ノ御答辯ノ中ニアリマシタ救縣運動、或ハ救國運動、斯ウ云フ聲ガ澎湃シテ國民ノ中カラモ起ツテ參ラナケレバナリマセマシ、又國民代表デアアル議員ナドガ、率先シテ中心ニナラナケレババイガ問題デアルト思フノデアリマス、此ノ食糧ニ對シテ救國運動ヲ起スト云フコトハ、政府トシテハ、大分以前カラ斯ウ云フコトヲ口ニサレテ居タヤウニ記憶致シマスガ、若シ何等カノ構想ガオアリニナリマスナラバ、ソレヲ御示願ヒタイト

林省ノ基礎數字ト申シマスガ、割當方法ニ於テ、絕對ニ是ガ的確ナモノデア

度トモ密接ナ關聯ヲ持つテ居リマスノデアリマスガ、六千萬「ト」ノ輸入ヲ見マシテモ尙ホ四百萬石不足スルコトヲ發見致シマシタノハ、實ハ新シイ食糧緊急危機突破對策ヲ實施スル前ノ現實ノ狀態デアツタノデアリマス、即チ昨年來ノ供出狀況ハ一面強硬發動ノ措置ヲ裏打ト致シマシテ、是モ度々申上ゲマシタヤウニ、挺入レガ三月ノ中旬カラ四月ニカケテ出來テ、相當當時ノ食糧事情ヲ改善ヘ致シタモノト確

リ此ノ年內ニ食ヒ盡ス、從來ハ御承知ノヤウニ、麥ニ付キマシテハ大體半分ハ農家ノ手ニ殘リ、半分ガ一般ノ操作用ニ上ツタノデアリマスガ、而モ全體ト致シマシテハ、大體食糧年度內ニ於キマシテハ五割カラ六割ガ消費セラ

レマシテ、殘リノ四割乃至五割ト云フモノハ翌食糧年度ニ繰越サレテ居タノガ實情デアツタノデアリマス、併シ今日ノ事態ニ於キマシテハ徹底サウ云フヤウナコトハ許サレマセヌノデ、本食糧年度內ニ馬鈴薯、麥ハ食ヒ盡クスト云フコトヲ先ヅ私共トシテハ考ヘザルヲ得ナカツタノデアリマス、食ヒ盡ク

リ、救縣運動ハ、救國運動ニナリ、是ガ救國運動ニナリ、斯クテハ部落、更ニ小サクナツテハ親類縁者ト云フ風ナ範圍ニ縮小サレテ行ク傾向ガアルノデアリマス、之ヲ單ニ府縣「ブロック」制トカ、農村「セクション」ナリズムト云フ風ナ言葉デ片付ケルニハ、現在餘リニ深刻ナ所マデ參ツテ居ルカニ見受ケルノデゴザイマス、各地ノ食糧事情ヲ見マスルノニ、或ル縣ニ於テハ相當、何十日分位ノ米ヲ持つテ居ル、然ル

「パーセント」マデサウ云フ麥ヤ芋ヲ通ジテ出サシメルト云フ強イ肚ヲ御持チ

思フノデアリマス、ト申シマスコトハ、供出ノ切替へ、或ハ今年度ノ食糧ニ對スル努力、又麥、馬鈴薯ノ供出制度トモ密接ナ關聯ヲ持つテ居リマスノデアリマスガ、六千萬「ト」ノ輸入ヲ見マシテモ尙ホ四百萬石不足スルコトヲ發見致シマシタノハ、實ハ新シイ食糧緊急危機突破對策ヲ實施スル前ノ現實ノ狀態デアツタノデアリマス、即チ昨年來ノ供出狀況ハ一面強硬發動ノ措置ヲ裏打ト致シマシテ、是モ度々申上ゲマシタヤウニ、挺入レガ三月ノ中旬カラ四月ニカケテ出來テ、相當當時ノ食糧事情ヲ改善ヘ致シタモノト確

リ此ノ年內ニ食ヒ盡ス、從來ハ御承知ノヤウニ、麥ニ付キマシテハ大體半分ハ農家ノ手ニ殘リ、半分ガ一般ノ操作用ニ上ツタノデアリマスガ、而モ全體ト致シマシテハ、大體食糧年度內ニ於キマシテハ五割カラ六割ガ消費セラ

レマシテ、殘リノ四割乃至五割ト云フモノハ翌食糧年度ニ繰越サレテ居タノガ實情デアツタノデアリマス、併シ今日ノ事態ニ於キマシテハ徹底サウ云フヤウナコトハ許サレマセヌノデ、本食糧年度內ニ馬鈴薯、麥ハ食ヒ盡クスト云フコトヲ先ヅ私共トシテハ考ヘザルヲ得ナカツタノデアリマス、食ヒ盡ク

リ、救縣運動ハ、救國運動ニナリ、是ガ救國運動ニナリ、斯クテハ部落、更ニ小サクナツテハ親類縁者ト云フ風ナ範圍ニ縮小サレテ行ク傾向ガアルノデアリマス、之ヲ單ニ府縣「ブロック」制トカ、農村「セクション」ナリズムト云フ風ナ言葉デ片付ケルニハ、現在餘リニ深刻ナ所マデ參ツテ居ルカニ見受ケルノデゴザイマス、各地ノ食糧事情ヲ見マスルノニ、或ル縣ニ於テハ相當、何十日分位ノ米ヲ持つテ居ル、然ル

「パーセント」マデサウ云フ麥ヤ芋ヲ通ジテ出サシメルト云フ強イ肚ヲ御持チ

思フノデアリマス、ト申シマスコトハ、供出ノ切替へ、或ハ今年度ノ食糧ニ對スル努力、又麥、馬鈴薯ノ供出制度トモ密接ナ關聯ヲ持つテ居リマスノデアリマスガ、六千萬「ト」ノ輸入ヲ見マシテモ尙ホ四百萬石不足スルコトヲ發見致シマシタノハ、實ハ新シイ食糧緊急危機突破對策ヲ實施スル前ノ現實ノ狀態デアツタノデアリマス、即チ昨年來ノ供出狀況ハ一面強硬發動ノ措置ヲ裏打ト致シマシテ、是モ度々申上ゲマシタヤウニ、挺入レガ三月ノ中旬カラ四月ニカケテ出來テ、相當當時ノ食糧事情ヲ改善ヘ致シタモノト確

リ此ノ年內ニ食ヒ盡ス、從來ハ御承知ノヤウニ、麥ニ付キマシテハ大體半分ハ農家ノ手ニ殘リ、半分ガ一般ノ操作用ニ上ツタノデアリマスガ、而モ全體ト致シマシテハ、大體食糧年度內ニ於キマシテハ五割カラ六割ガ消費セラ

レマシテ、殘リノ四割乃至五割ト云フモノハ翌食糧年度ニ繰越サレテ居タノガ實情デアツタノデアリマス、併シ今日ノ事態ニ於キマシテハ徹底サウ云フヤウナコトハ許サレマセヌノデ、本食糧年度內ニ馬鈴薯、麥ハ食ヒ盡クスト云フコトヲ先ヅ私共トシテハ考ヘザルヲ得ナカツタノデアリマス、食ヒ盡ク

リ、救縣運動ハ、救國運動ニナリ、是ガ救國運動ニナリ、斯クテハ部落、更ニ小サクナツテハ親類縁者ト云フ風ナ範圍ニ縮小サレテ行ク傾向ガアルノデアリマス、之ヲ單ニ府縣「ブロック」制トカ、農村「セクション」ナリズムト云フ風ナ言葉デ片付ケルニハ、現在餘リニ深刻ナ所マデ參ツテ居ルカニ見受ケルノデゴザイマス、各地ノ食糧事情ヲ見マスルノニ、或ル縣ニ於テハ相當、何十日分位ノ米ヲ持つテ居ル、然ル

「パーセント」マデサウ云フ麥ヤ芋ヲ通ジテ出サシメルト云フ強イ肚ヲ御持チ

思フノデアリマス、ト申シマスコトハ、供出ノ切替へ、或ハ今年度ノ食糧ニ對スル努力、又麥、馬鈴薯ノ供出制度トモ密接ナ關聯ヲ持つテ居リマスノデアリマスガ、六千萬「ト」ノ輸入ヲ見マシテモ尙ホ四百萬石不足スルコトヲ發見致シマシタノハ、實ハ新シイ食糧緊急危機突破對策ヲ實施スル前ノ現實ノ狀態デアツタノデアリマス、即チ昨年來ノ供出狀況ハ一面強硬發動ノ措置ヲ裏打ト致シマシテ、是モ度々申上ゲマシタヤウニ、挺入レガ三月ノ中旬カラ四月ニカケテ出來テ、相當當時ノ食糧事情ヲ改善ヘ致シタモノト確

リ此ノ年內ニ食ヒ盡ス、從來ハ御承知ノヤウニ、麥ニ付キマシテハ大體半分ハ農家ノ手ニ殘リ、半分ガ一般ノ操作用ニ上ツタノデアリマスガ、而モ全體ト致シマシテハ、大體食糧年度內ニ於キマシテハ五割カラ六割ガ消費セラ

レマシテ、殘リノ四割乃至五割ト云フモノハ翌食糧年度ニ繰越サレテ居タノガ實情デアツタノデアリマス、併シ今日ノ事態ニ於キマシテハ徹底サウ云フヤウナコトハ許サレマセヌノデ、本食糧年度內ニ馬鈴薯、麥ハ食ヒ盡クスト云フコトヲ先ヅ私共トシテハ考ヘザルヲ得ナカツタノデアリマス、食ヒ盡ク

リ、救縣運動ハ、救國運動ニナリ、是ガ救國運動ニナリ、斯クテハ部落、更ニ小サクナツテハ親類縁者ト云フ風ナ範圍ニ縮小サレテ行ク傾向ガアルノデアリマス、之ヲ單ニ府縣「ブロック」制トカ、農村「セクション」ナリズムト云フ風ナ言葉デ片付ケルニハ、現在餘リニ深刻ナ所マデ參ツテ居ルカニ見受ケルノデゴザイマス、各地ノ食糧事情ヲ見マスルノニ、或ル縣ニ於テハ相當、何十日分位ノ米ヲ持つテ居ル、然ル

「パーセント」マデサウ云フ麥ヤ芋ヲ通ジテ出サシメルト云フ強イ肚ヲ御持チ

思フノデアリマス、ト申シマスコトハ、供出ノ切替へ、或ハ今年度ノ食糧ニ對スル努力、又麥、馬鈴薯ノ供出制度トモ密接ナ關聯ヲ持つテ居リマスノデアリマスガ、六千萬「ト」ノ輸入ヲ見マシテモ尙ホ四百萬石不足スルコトヲ發見致シマシタノハ、實ハ新シイ食糧緊急危機突破對策ヲ實施スル前ノ現實ノ狀態デアツタノデアリマス、即チ昨年來ノ供出狀況ハ一面強硬發動ノ措置ヲ裏打ト致シマシテ、是モ度々申上ゲマシタヤウニ、挺入レガ三月ノ中旬カラ四月ニカケテ出來テ、相當當時ノ食糧事情ヲ改善ヘ致シタモノト確

リ此ノ年內ニ食ヒ盡ス、從來ハ御承知ノヤウニ、麥ニ付キマシテハ大體半分ハ農家ノ手ニ殘リ、半分ガ一般ノ操作用ニ上ツタノデアリマスガ、而モ全體ト致シマシテハ、大體食糧年度內ニ於キマシテハ五割カラ六割ガ消費セラ

レマシテ、殘リノ四割乃至五割ト云フモノハ翌食糧年度ニ繰越サレテ居タノガ實情デアツタノデアリマス、併シ今日ノ事態ニ於キマシテハ徹底サウ云フヤウナコトハ許サレマセヌノデ、本食糧年度內ニ馬鈴薯、麥ハ食ヒ盡クスト云フコトヲ先ヅ私共トシテハ考ヘザルヲ得ナカツタノデアリマス、食ヒ盡ク

リ、救縣運動ハ、救國運動ニナリ、是ガ救國運動ニナリ、斯クテハ部落、更ニ小サクナツテハ親類縁者ト云フ風ナ範圍ニ縮小サレテ行ク傾向ガアルノデアリマス、之ヲ單ニ府縣「ブロック」制トカ、農村「セクション」ナリズムト云フ風ナ言葉デ片付ケルニハ、現在餘リニ深刻ナ所マデ參ツテ居ルカニ見受ケルノデゴザイマス、各地ノ食糧事情ヲ見マスルノニ、或ル縣ニ於テハ相當、何十日分位ノ米ヲ持つテ居ル、然ル

「パーセント」マデサウ云フ麥ヤ芋ヲ通ジテ出サシメルト云フ強イ肚ヲ御持チ

思フノデアリマス、ト申シマスコトハ、供出ノ切替へ、或ハ今年度ノ食糧ニ對スル努力、又麥、馬鈴薯ノ供出制度トモ密接ナ關聯ヲ持つテ居リマスノデアリマスガ、六千萬「ト」ノ輸入ヲ見マシテモ尙ホ四百萬石不足スルコトヲ發見致シマシタノハ、實ハ新シイ食糧緊急危機突破對策ヲ實施スル前ノ現實ノ狀態デアツタノデアリマス、即チ昨年來ノ供出狀況ハ一面強硬發動ノ措置ヲ裏打ト致シマシテ、是モ度々申上ゲマシタヤウニ、挺入レガ三月ノ中旬カラ四月ニカケテ出來テ、相當當時ノ食糧事情ヲ改善ヘ致シタモノト確

リ此ノ年內ニ食ヒ盡ス、從來ハ御承知ノヤウニ、麥ニ付キマシテハ大體半分ハ農家ノ手ニ殘リ、半分ガ一般ノ操作用ニ上ツタノデアリマスガ、而モ全體ト致シマシテハ、大體食糧年度內ニ於キマシテハ五割カラ六割ガ消費セラ

レマシテ、殘リノ四割乃至五割ト云フモノハ翌食糧年度ニ繰越サレテ居タノガ實情デアツタノデアリマス、併シ今日ノ事態ニ於キマシテハ徹底サウ云フヤウナコトハ許サレマセヌノデ、本食糧年度內ニ馬鈴薯、麥ハ食ヒ盡クスト云フコトヲ先ヅ私共トシテハ考ヘザルヲ得ナカツタノデアリマス、食ヒ盡ク

リ、救縣運動ハ、救國運動ニナリ、是ガ救國運動ニナリ、斯クテハ部落、更ニ小サクナツテハ親類縁者ト云フ風ナ範圍ニ縮小サレテ行ク傾向ガアルノデアリマス、之ヲ單ニ府縣「ブロック」制トカ、農村「セクション」ナリズムト云フ風ナ言葉デ片付ケルニハ、現在餘リニ深刻ナ所マデ參ツテ居ルカニ見受ケルノデゴザイマス、各地ノ食糧事情ヲ見マスルノニ、或ル縣ニ於テハ相當、何十日分位ノ米ヲ持つテ居ル、然ル

「パーセント」マデサウ云フ麥ヤ芋ヲ通ジテ出サシメルト云フ強イ肚ヲ御持チ

思フノデアリマス、ト申シマスコトハ、供出ノ切替へ、或ハ今年度ノ食糧ニ對スル努力、又麥、馬鈴薯ノ供出制度トモ密接ナ關聯ヲ持つテ居リマスノデアリマスガ、六千萬「ト」ノ輸入ヲ見マシテモ尙ホ四百萬石不足スルコトヲ發見致シマシタノハ、實ハ新シイ食糧緊急危機突破對策ヲ實施スル前ノ現實ノ狀態デアツタノデアリマス、即チ昨年來ノ供出狀況ハ一面強硬發動ノ措置ヲ裏打ト致シマシテ、是モ度々申上ゲマシタヤウニ、挺入レガ三月ノ中旬カラ四月ニカケテ出來テ、相當當時ノ食糧事情ヲ改善ヘ致シタモノト確

リ此ノ年內ニ食ヒ盡ス、從來ハ御承知ノヤウニ、麥ニ付キマシテハ大體半分ハ農家ノ手ニ殘リ、半分ガ一般ノ操作用ニ上ツタノデアリマスガ、而モ全體ト致シマシテハ、大體食糧年度內ニ於キマシテハ五割カラ六割ガ消費セラ

レマシテ、殘リノ四割乃至五割ト云フモノハ翌食糧年度ニ繰越サレテ居タノガ實情デアツタノデアリマス、併シ今日ノ事態ニ於キマシテハ徹底サウ云フヤウナコトハ許サレマセヌノデ、本食糧年度內ニ馬鈴薯、麥ハ食ヒ盡クスト云フコトヲ先ヅ私共トシテハ考ヘザルヲ得ナカツタノデアリマス、食ヒ盡ク

リ、救縣運動ハ、救國運動ニナリ、是ガ救國運動ニナリ、斯クテハ部落、更ニ小サクナツテハ親類縁者ト云フ風ナ範圍ニ縮小サレテ行ク傾向ガアルノデアリマス、之ヲ單ニ府縣「ブロック」制トカ、農村「セクション」ナリズムト云フ風ナ言葉デ片付ケルニハ、現在餘リニ深刻ナ所マデ參ツテ居ルカニ見受ケルノデゴザイマス、各地ノ食糧事情ヲ見マスルノニ、或ル縣ニ於テハ相當、何十日分位ノ米ヲ持つテ居ル、然ル

ニ片方デハモウ既ニ十日、二十日缺配
デアル、斯ウ云フ凸凹何トカ是正出
來ヌモノデアルカ、是ハ本會議デモ若
干サウ云フ問題ニ觸レラレテ居リマ
スガ、其ノ隘路トシテ輸送力ノ問題ガ
リハセヌカ、運輸關係ノ政府委員ガ
リヤ否ヤト云フ點、農林關係御分
リニナツテ居ツタナラバ、ソレヲ御説明
戴キタイシ、更ニ此ノ府縣「ブロック」
制ト云フ風ナモノガ消出出來ナイト云
フコトハ、是ハ謂ハバ政治力ノ不足デ
ハナイカ、若シ自縣第一主義デ以テ
「セクショナリズム」ヲ固陋ニ守ツテ居
ル縣知事ガアルナラバ、斯様ナ者ハド
ンドン首ヲ鹹ルト云フ位ノ決意ヲ政府
當局ハ示サレナケレバナラヌト云フ風
ナ者ヘヲ特ツトデアリマス、取敢ズ今
ノ二、三點ヲ特ニ御伺ヒ致シマス

○補見政府委員 先ヅ第一救國運動ニ
付テ、政府トシテ構想ガアルカドウカ
ト云フ點デアリマスガ、是ハ昨年ノ秋
ニ於キマシテ、食糧危機突破國民運動
ヲ、政府トシテ致シマシテ提唱致シタコト
ガアルノデアリマス、此ノ際ニ政府ト
致シマシテハ、斯ウ云フヤウナ運動ハ
結局官製の運動ニ墮スルコトノ從來ノ
弊ヲ避ケマス爲ニ、民間ニ於キマス
ル各界、各層ノ方々ノ參集ヲ求メマシ
テ、政府カラソレヲ依頼致シマスル
同時ニ、其ノ運動ハ總テ事ゲテ純民間
運動トシテ御願ヒ致シタイ、斯ウ云フ
コトデ出發致シタノデアリマスガ、併
シ當時ノ社會情勢並ニ、ヤハリ從來カ
ラノ情性ト申シマスガ、考ヘ方ノ情性
モアリマシテ、結局政府ガ呼ビ掛ケ
モノニ付キマシテハ、官製團體ト云フ
誤解ヲ受ケマシテ、中々思フヤウニ進
行致サナカタノデアリマス、是ハ御

述ベニナリマシタヤウニ、又私共モサ
ウ云フ風ニ考ヘル者デアリマスガ、此
ノ種ノ運動ハ眞ニ盛リ上ル運動デナ
レバ、結局單ナル天降リ的ノ、又官製
的ノ運動ニ墮スルノデアリマシテ、隨
テ政府ト致シマシテハ、救國運動ハ一
切此ノ盛リ上ル力ニ依ツテ、特ニ國民
ノ代表デアアラマス所ノ政黨ノ皆様方
ノ力ヲ中心トシテ、此ノ運動ヲ展開致
シテ居ル狀態デアリマシテ、政府ト致
シマシテハ何等之ニ付テハ構想ヲ持
ナイ、又持ナイ方宜イ、斯ウ云フ
風ニ私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス
ソレカラ此ノ凹凸ヲ是正シテ行ク上
ニ於テ輸送力ノ缺陷ガナカタカ、ア
ツタカ、斯ウ云フコトデアリマスガ、
此ノ點ニ付キマシテハ、是モ御承知ノ
ヤウニ昨年ノ末カラ極ク最近マデ、所
謂赤字搬出ト云フモノヲ全國的ニ致
シタノデアリマス、是ハ未ダ曾テサウ
云フコトヲ致シタコトハナイノデアリ
マスガ、食糧供給ノ觀點カラ時ヲ豫
ニ、本來デアアレバ需給ガトントン
ル縣カラモ、赤字ヲ出シテ縣外ニ出
テ賣ツタノデアリマス、併シ是ハ純算
術平均的ニハ中々困難デアリマシテ、
結局私共ト致シマシテハ、出來得ル最
高限度マデヲ實行スルコト云フコトデ
進シテ參ツタノデアリマス、此ノ理由
ハ、勿論輸送力ト云フモノモ一部ニハ
ゴザイマシタ、併シ實ハ是ハ大キナ問
題デハナカタノデアリマス、偶々最
近ノ水害ナド橋ガ壞レマシタトカ、
或ハ一部小運送ガ思フヤウニ行カヌ
ト云フヤウナ事例モアリマシタケレド
モ、全體的ノ問題ト致シマシテハ是ハ
大シタ問題デハナイノデアリマシテ、
結局官行カナイト云フノハ、又或ル

意味ニ於キマシテハ已ムヲ得ナイ事情
デモアルノデアリマスガ、例ヘバ六月
ナラ六月マデヲ區切ツテ全部出シテ賣
フト云フ場合ニ、ソレデハ七月ノ食糧
ガドウナルカト云フ目途ガハツキリト
付キマセヌケレバ、出ス方モ中々思フ
ヤウニハ出セナイト云フ、或ル程度已
ムヲ得ナイ事情モアツタノデアリマ
ス、是等ノ點ニ付キマシテハ、出來
ルデ食ヒ延バシノ方策ヲ講ジテ、少
シデ餘計ニ出シテ賣フト云フコト現
在ニデ參ツタヤウナ情勢デアリマス
ソレカラ府縣「ブロック」ノ問題デア
リマスガ、勿論私共ハ良イ意味ニ於ケ
ル「ブロック」、例ヘバ四國ナラ四國ト
云フ所ハ、本年ハ全體トシテ不足デア
リマスガ、併シ其ノ不足ヲ四國內デ先
ゾオ互ヒノ力ヲ出シ合ツテ、國ノ厄介
ニナル前ニ出來ルデ各自分達ノ力ヲ
ツテ行カウ、斯ウ云フヤウナ意味ノ地
方「ブロック」ト云フモノモ本年ハ出
テ參ツタノデアリマスガ、一面ニ於テ
ハ、御述ベニナリマシタヤウニ、惡イ
意味ノ「ブロック」思想ト云フモノモ本
年ハ根強ク出タ地方モアルノデアリマ
ス、勿論私共ハサウ云フヤウナ所ニ對
シマシテハ、地方長官ニ付キマシテモ、
相當嚴重ニ申入れ、又内務省ト十分
連絡ヲ取りマシテ、更迭或ハ辭職戴
クト云フヤウナコトモ致シマシタシ、
將來モ其ノ積リデアリ譯デアリマス、
併シコ、デ私共ガ痛切ニ感ジマシタコ
トハ、一面サウ云フヤウナコトモゴザ
イマセガ、又他面ニ於テ、最近ハ段々
一人ノ長官ナリ、或ハ一人ノ經濟部長
ノ力デケデハ、中々「ブロック」ノ思想
ヲ打破シ得ナイヤウナ根強イモノガ、
末端ニマデ參透シツ、アルヤウナ空氣
モ察セラレルノデアリマス、勿論此點

ニ付テハ、私共ハ中間ノ指導者ノ方々
ニモ、是ハ言葉ハ惡イカモ分リマセヌ
ガ、大キナ責任ガアルト思フノデアリ
マシテ、サウ云フヤウナ指導ヲセラル
ル所モアルノデアリマス、結局將來ハ
一人ノ知事、或ハ一人ノ經濟部長ノ力
デナクシテ、全體ノ「特ニ中間ノ指導
者ノ方々」、是等ノ人々ニ能ク國ノ全體
ノ事情ヲ吞込シテ貫ヒマシテ、ソレ等
ノ人々ノ協力ヲ得テ、國民諸君ニモ説
得シテ戴ク、斯ウ云フ風ニ縣全體ノ努
力ニ依リマセヌケレバ、中々將來我々
ノ心配致シマスル此ノ府縣「ブロック」
ト云フモノハ容易ニ打破シ得ナイノデ
ハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデア
リマシテ、是等ノ點ニ付テハ、別ノ觀點
カラ今後ノ努力ヲ私共ニ課セラレテ居
ル問題デアル、斯様ニ存ズル次第デア
リマス

○井出委員 供出ノ問題ガ單ナル官僚
機構ノ「メアニズム」ト云フヤウナモ
ノデケデハ片ガ付カヌト云フ今ノ御話
ハ、私モ非常ニ同感デアリマス、之ニ
關聯致シマシテ、例ヘバ食糧營團、農
業會乃至ハ地方事務所、斯ウ云ツタ一
連ノモノ、之ヲ官僚機構ト呼ビ得ラレ
マスカドウカ分リマセヌガ、斯ウ云ツ
タモノニ對スル不信賴ノ聲ガ非常ニ高
クナツテ參リマシタ、一面人民管理ト
云フ風ナ聲ガ起ツテ居ルコトハ御承知
ノ通りデアリマス、此ノ人民管理ナル
モノハ如何ナル内容ヲ持ツモノデア
ルカ、私モ詳シクハ存ジテ居ラスノデア
リマスガ、マア此ノ背後ニハ何等カノ
政黨ノ指導ト云フ風ナモノモ多分アル
デアラウト思フノデアリマスガ、斯ウ
云ツタ食糧管理人民委員會ト云フ風ナ
形ノモノガ漸次出來マスル場合ニハ、
是ハ所謂人民ノ名ニ於テ二重權力ガ存

在シテ參ルト云フ風ナ傾向ヲ招致シハ
シナイカ、而モ場合ニ依ツテハ、此ノ人
民管理ノ名ノ下ニ却テ供出ノ熱意ヲ冷
却セラルヤウナ方向ヲ取ルト云フ、誤
ツタ指導モ行ハレテ居ルヤウナ場合モ
アルヤウデアリマシテ、是ハ洵ニ遺憾
デアリマス、出サナイ人民管理ト云フ
コトデアツテハ、是ハ洵ニ「ナシセン
ス」デアリマシテ、是ハ恐ク何等ノ
法的根據ヲ持ツテハ居ラス認デアリマ
スガ、政府ハ斯ウ云ツタ組織ヲ此ノ儘
ニ放任サレマスカドウカ、放任シテ置
ク時ニハ洵ニ憂慮シナケレバナラス事
態ガ起ルダラウト思フノデアリマシ
テ、場合ニ依ツテハ此ノ熱意ヲ冷却サ
セルト云フ風ナ運動ニ對シテハ、本措
置令第十一條ノ罰則ノ適用ヲシテ然ル
ベキモノデアリナイカ、私ハコンナ風ニ
思フノデアリマス、併シナガラ先程ノ
次官ノ御説明ノ中ニゴザイマシタヤウ
ニ、單ナル官僚機構デケデハ駄目デア
ル、人民ノ盛リ上ル民主的ナ供出ナ
リ、食糧管理ナリノ方向ヲ採リ入レル
ト云フコトハ、非常ニ必要デアルノデ
アリマシテ、斯ウ云フ長所ヲ今後ノ、
例ヘバ市町村食糧調整委員會ト云フヤ
ウナモノノ中ニ相當廣範圍ニ、大規模
ニ採用サレルヤウナ意思ガオアリデハ
ナイカ、以上ノ點ヲ御聽キ致シマス

○補見政府委員 人民管理ノ問題ニ付
キマシテハ、私共ト致シマシテハ御承
知ノヤウニ、現在主要食糧ニ付キマシ
テハ、國ノ最モ統制アル管理ノ下ニ之
ヲ致シテ居ルノデアリマス、隨テ此ノ
國ノ管理ガ案サレルト云フヤウナコト
モ付キマシテハ、特ニ同意ヲ致シ兼ネ
ルノデアリマスガ、只今御述ベニナリ
マシタヤウニ、食糧營團ノ問題ニ致シ
マシテモ、或ハ供出ノ問題ニ致シマシ

テモ、民主的の方向で之ヲヤツテ行クト云フコトニ付キマシテハ、私共十分從來ノ方針ニ付キマシテ檢討ヲ致サナレバナラヌ點ガ多クアルノアリマス、隨ヒマシテ、現ニ御承知ノヤウニ、私共ノ關係致シテ居リマスル仕事、即チ食糧ノ調整委員會ノ問題ニ致シマシテモ、或ハ隱微減價ノ供出促進ニ關シマスル官民合同ノ委員會ノ運営ニ致シマシテモ、總テ斯ウ云フ民主的の方向で以テ、出來ル限リヤツテ参リタイト云フ風ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、大體私共ハ、御述ベニナリマシタ點ト同様ナ考ヘテ持ツテ進ンデ行キタイト思ツテ居リマス

○井出委員 ドウモ長クナツテ大變恐縮デゴザイマスガ、モウ一、二點御尋ネ致シタイト思ヒマス

本措置令第九條ハ、青果物或ハ魚介類ニ對スル統制ノ規定デアリマス、昨秋是等ノ生鮮食料品ニ對シテ統制ノ枠ガ外サレ、一應自由市場ニ是ガ任サレマシタ、其ノ時ノ經濟ハ先達テ河合厚生大臣ガ此處ニ御出席ニナツテ御説明ガアツタノデ諒承致シテ居ルデアリマス、昨秋枠外ノ時期ト云フノハ、謂ハ、野菜ハ冬枯ノ時期ニ至ルシ、魚類ハ時化ノ時期ニナル、而モ日前暮ト正月ト云フ風ナ大需要期ノ前ニ致シテ居ル、統制ノ枠ヲ外スニハ洵ニ惡イ時期デアツタト私共ハ思フノデアリマス、今後例ヘバ漁場ガ擴大サレルト云フ風ナコトニ依ツテ、漁獲高ハ相當ニ多クナル可能性ヲ持ツテ居リマセウシ、野菜ト云フ風ナモノモ、蔬菜栽培ガ一番算盤ニ合フト云フ風ナコトモ考ヘラレルデアリマス、適當ナル時期若シアリトスルナラバ、此ノ枠ヲモ

ウ一週外スト云フ風ナ、詰リ生鮮食料品ト云フモノハ、河合大臣モ言ハレマシタヤウニ生鮮物デアツテ、中々一筋繩デハイカント思ツテ居ルノデアリマス、難カシイ、斯ウ言ハレマシタガ、農林當局ニ於テハ、若シ適當ナル時期ガアレバ、此ノ枠ヲ外ス考ヘハ御持チニナツテ居リマスカドウカ

○補見政府委員 生鮮食料品ニ付キマシテ、需給事情ガ許シ、又價格問題ヲ中心ト致シマシタ經濟事情ガソレヲ許スト云フヤウナ事態ガ來マシレバ、唯今井出サシノ御述ベニナリマシタヤウナ事情ガ問題ニナル譯デアリマスガ、併シ現在ノ見透シニ依リマシテハ、當分ハ斯ウ云フ風ナ事態ハ中々難カシイノデナイイカト云フ風ニ、私共ハ考ヘテ居リマスノデ、生鮮食料品ノ統制ヲ撤廢スルト云フコトハ、現在ニ於キマシテハ私共ハ全ク考ヘテ居リマセヌ

○井出委員 唯今ノ次官ノ御答辯ハ、實ハ私ノ意見トハ若干違フデアリマスガ、之ヲ論ジテ居レバ水掛論ニナリマスノデ、此ノ程度ニ致シマス、最後ニ、先程申シマシタヤウニ、大藏關係ハドナタカ御見エニナリマセヌカ

○岩本委員長代理 今連絡ヲ取ツテ居リマスガ、ドウデスカ

○井出委員 イヤ、ソレナラバ後ノ機會宜シウゴザイマスカラ、農林省ノ關係ガ今何ツテ置キマス、六月一日カラ七月末日ニ至ルマデノ二箇月間醸造禁止ト申シマセウカ、酒類ハ固ヨリ、味噌醤油ノ醸造ヲ禁止サレタヤウデアリマス、是ハ勿論此ノ時期ト致シマシテハ、謂ハ「マツカーサー」司令部ニ依ツテ食糧マデ輸入シテ賣シテ居ルト云フ現状デアル、國民ガ「アトル」飲料カラ遠ザカルト云フ風

ナ意思表示ヲスルト云フコトハ、私ハ非常ニ效果ガ多イト思ツテ居リマス、先達テ味噌、醬油ノ問題ニ付テハ、ドナタカノ發言ニ對スル御答辯ヲ承知ラ致シテ居リマスガ、日本酒デゴザイマスケレドモ、固ヨリ腹ヲ滿タスコトノ方ガ斷拂フコトヨリモ先デアル、此ノ論議ハ當然デアル、此ノ論議ノ正當性ノ前ニハ酒ハ何等ノ自己主張ヲ爲ス譯ニ行カスト思フノデアリマス、併シ酒類自體ノ持ツテ居リマスル消極的の主張ト申シマセウカ、是ハ中々根強イモノデアルト思フノデアリマス、最近厄

亂シテ起リマス「メチール」ノ問題、是ナドハ此ノ適切ナル例證デアラウカト思フノデアリマス、隨テ此ノ二ヶ月間ヲ區切ツテノ醸造禁止ト云フ問題ガ、今後更ニ何處マデ延長サレルカト云フ風ナ點ニ付テハ、御見透シガ御アリデアツタナラバ之ヲ伺ヒタイ

ソレカラモウ一ツ、之ニ併セマシテ酒類ノ問題デアリマスガ、是ハ正當ナル「ルール」ニ乘ルベキ主要食糧ヲ非常ニ暗々裡ニ使ヒ果テ居ルト云フコトハ申上ゲルマデモナイコトデアリマシテ、此ノ量ガ一體ドレ位アルカ、全國農業會アタリノ推定ニ依リマシテモ、是ハ百萬石ヲ下ルマイ、斯ウ申シテ居リマス、昨年酒造米トシテ配給サレマシタモノハ、米ニシテ六十五萬石、ソレヨリモ多イ所ノ百萬石ト云フヤウナ數盤ガ酒類ニ使ハレテ居ルトデアリマシテ、酒類ガ衛生上惡イトカ、或ハ非常ニ不經濟デアルトカ、乃至ハ適法精神ニ對スル大キナ妨ゲニナルト云フ風ナコトハ、是ハ申サマデモゴザイマセヌガ、併シ若シ酒類ノ醸造ヲ禁止シタ點ニハ、是ハ現在推定サレル百萬石ト云フ風ナ酒類消費ニ使ハレル數字ハ

更ニ殖エテ、百五十萬、二百萬ト云フヤウナ數字ニナラストハ保障難イノデアリマス、サウ云フ點ニ於テハ寧ロ若干ノ酒造ハ許スコトノ方ガ宜イノデハナイイカト云フ風ニ私共ハ考ヘルノデアリマス、其ノ點ニ付テハ御意見ヲ伺ヘレバ結構デス

○補見政府委員 酒ノ醸造問題並ニ酒類ノ問題ニ付テハ、御尋ネデアリマスガ、實ハ本年ノ酒ハ、日本酒ノ仕込ニ付キマシテハ、是ハ御承知ノヤウニ大體仕込ノ時期ガモウ濟ンデ居ルノデアリマス、寧ロ今後ノ造酒ヲドウスルカト云フコトニナル譯デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、現在ノ所マデ政府トシテハハッキリシタ態度ハ決メテ居リマセヌ、唯申上ゲタイコトハ、二ツノ考ヘ方アルノデアリマシテ、此

ノ點ハ唯今モ井出サシカラ御流ベニナリマシタ通りデアリマス、即チ現在外國カラ食糧ヲ入レテ居リ、而モ其ノ食糧ヲ輸出シテ居ル國ニ於テモ、小麥ノ釀造用向ケテ制限シテ居ル、サウ云フ風ニ酒向ケテ小麥使用ヲ禁止シ、或ハ制限ヲ立テテ居ル國カラ食糧ヲ賣ツテ居ル國ガ、其ノ食糧ヲ酒ニ廻ス、斯ウ云フコトハ現在ニ於テハ極力遠慮シナケレバナラヌデヤナイイカ、斯ウ云フ考ヘ方ガ一ツデアリマス、是ハ私ハ其ノ通りダト思フノデアリマス、併シ一面、例ヘバ酒類ノ問題ニ付テ御話シナリマシタヤウニ、結局酒モ明日ノ生産ノ原動力トシテ農家ノ疲レヲ癒シ、或ハ釀造力ヲシテ、勞働者諸君ノ疲レヲ癒シ、斯ウ云フ觀點カラ見マスト、結局私共トシテハ此ノ點ニ付テモ考慮ヲ拂ハナケレバナラヌ、況ヤ酒ガナイ爲ニ非常ニ不經濟ナ使ヒ方ヲシタ酒類、又

トニナリマスレバ、是ハ却テ國家經濟ノ觀點カラ申セバ損ニナル譯デアリマスカラ、是等ノ點ヲ十分檢討シ、又關係方面ニ十分連絡シ、其ノ時ノ食糧事情ト云フモノノ下ニ於テ十分詰合ヲ致シマシテ、政府トシテ今後ノ問題ニ付テハ態度ヲ決メタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、現在ノ所ハ、今後ノ見透シヲドウスルカト云フコトニ付テハ、マダハハッキリ致シテ居リマセヌ

ソレカラ味噌、醬油ノ醸造ニ付テハ、禁止ガアツタヤウナ御話デゴザイマシタガ、味噌、醬油ニ付キマシテハサウ云フコトハ致シテ居リマセヌ、寧ロ是ハ原料難デ苦シンデ居ルヤウナ狀態デアリマシテ、大豆モ擧ゲテ之ヲ味噌ノ釀造ニ廻シ、而モ釀造ヲ急ガシテ居ル、斯ウ云フヤウナ情勢デアリマスノデ、此ノ點附加ヘテ申上ゲテ置キマス

○井出委員 其ノ味噌、醬油ノ問題デゴザイマスガ、此ノ頃或ル府縣デ其ノ禁止令ニ便乗シタト申シマセウカ、一應釀造家ノ手持原料ヲスツカリ吐出一セ、サウシテ之ヲ食糧ニ廻スコト云フ問題ガ、ヤハリ大分サウ云フ風ニ行ハレタ例ガアリマスガ、ソレハ別ニ釀造禁止トハ關係ハナイト考ヘテ宜シウゴザイマスカ

○補見政府委員 御話ノ如ク、醸造禁止トハ全然關係ハナイノデアリマス、寧ロ是ハ其ノ縣ノ食糧事情ガ非常ニ窮迫致シテ居リマスル爲ニ、例ヘバ味噌原料ノ大豆ト云フモノヲ一般食糧ノ用ニ供シタイ、其ノ爲ニ是ハ出シテ呉レ、斯ウ云フコトデ、是ハ別ニ隱微減價モ何デモナイ譯デアリマスガ、サウ云フコトヲ申出テ居ル向モアルノデハナイイカト思フノデアリマス、併シ私共ト致シマシテハ、ソレハ具體的ノ府縣

トニナリマスレバ、是ハ却テ國家經濟ノ觀點カラ申セバ損ニナル譯デアリマスカラ、是等ノ點ヲ十分檢討シ、又關係方面ニ十分連絡シ、其ノ時ノ食糧事情ト云フモノノ下ニ於テ十分詰合ヲ致シマシテ、政府トシテ今後ノ問題ニ付テハ態度ヲ決メタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、現在ノ所ハ、今後ノ見透シヲドウスルカト云フコトニ付テハ、マダハハッキリ致シテ居リマセヌ

ハ承知致シテ居リマセヌケレドモ、私共ハ此ノ主要食糧ト同時ニ、味噌ト云フモノモ非常ニ重要視シテ居ルノデアリマシテ、特ニ現在ノ此ノ原材料ノ關係、就中大豆ガ不足シテ居ル狀況カラ致シマスルト、サウ云フ所ノ大豆ト云フモノハ擧ゲテ味噌ノ用ニ供シ、サウシテ現在主食デ困ツテ居リマスヤウナ事態ガ、更ニ主食ガ解決致シマシタ曉ニ味噌醬油デ起リ、依然トシテ食糧ノ不安ガ續クト云フコトヲ出來ルダケ般和致シマバル爲ニ、味噌醸造優先ト云フ建前ヲ、實ハ政府トシテハ立テテ居ルヤウナ狀態デアリマス

○井出委員 一寸ソレニ關聯シテ伺ヒマスガ、國民榮養ノ點ニ於ケル蛋白質源トシテノ味噌、醬油ノ重要性ハ、唯今次官ガ仰シヤツタ通りデアリマスガ、其ノ豆ニ對スルニ是ハ主トシテ滿洲大豆ト云フコトニ相成リマセウガ、其ノ輸入ノ見込シト云ツタモノヲ若干御漏ラシ願ヒタイト思ヒマス

○棉見政府委員 滿洲大豆ニ付キマシテハ、終戰直後ニ於キマシテ司令部ニ對シマシテ、滿洲大豆五十萬「トン」ノ輸入申請方ニ付テ御願ヒヨシタノデアリマス、併シ御承知ノヤウナ「ソ」聯治下ノ情勢デザイマシテ、未ダニ滿洲トノ間ノ連絡ハ一切付カナイ、斯ウ云フヤウナ情勢アル譯デアリマス、ソコデ滿洲ノ大豆ニ付キマシテハ、現在ノ狀態ノ下ニ於キマシテハ一切手掛リナシ、斯「ソ」云フコトヲ申上ゲザルヲ得ナイヤウナ洵ニ殘念ナ狀態デアリマス、隨デ是カラノ問題ニナツテ來マサルト、滿洲ノ事情ガ、段々ト緩和サレテ參リマスレバ、是ハ御承知ノヤウニ、滿洲ノ大豆ハ相當ノ生産力ガアリ、又アノ國ニ於キマシテハ所謂換金作物ト

シテ、大豆ハ農民ノ手カラ入割以上ノモノガ市場ニ出ルノデアリマスカラ、此ノ現在ノ情勢サへ緩和サレマスレバ、入ツテ來ル道ハ私ハ期待ヲシテ宜イノデハナイカト思フノデアリマス、併シ現狀ハ今申シマシタヤウナ情勢デアル譯デアリマスノデ、國內産ノ現在ノ大豆ノ動員、或ハ是カラ生産サレル大豆ノ動員ト云フコトノ外ニハ、唯今ノ所「アメリカ」ニ期待ヲスル以外ニハ、一寸途ハナイヤウニ承知致シテ居リマス

○井出委員 以上ヲ以テ私ハ終リマス
○岩本委員長代理 御諮リ致シマス、丁度時間デアリマスカラ、休憩カ散會カドツチカニシタイト思ヒマス、アトマダ七人程通告ガゴザイマスガ、今日ハ本會議モアリマスカラ是デ散會致シマシテ、明日御骨折デモ午前十時カラ開キタイト思ヒマスガ、如何デセウカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○岩本委員長代理 ソレデハサウ云フコトニ致シマシテ、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後零時二分散會

昭和二十一年八月二日印刷

昭和二十一年八月四日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局